



インフラメンテナンス分野における課題と日立の取組

2018/11/20

株式会社日立製作所

社会イノベーション本部 甲斐 隆嗣

現状課題

- 社会インフラの老朽化が進む一方、
- ・熟練技術者のリタイアにより技術継承ができていない
 - ・大規模災害等による被害が多発 …etc

業務プロセス全体を考慮した業務改革および
新技術の現場適用によるメンテナンスの効率化・高度化が必要



課題解決に向けた日立の取組み

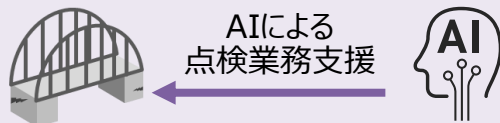
方向性

業務改革

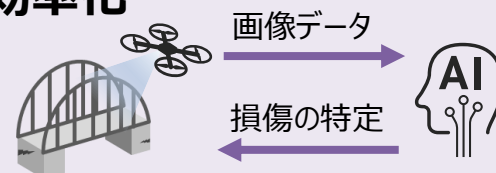
新技術の現場適用

取組み

AIを適用したメンテナンス業務の実現案
と課題に関する検討(2-1,2-2)

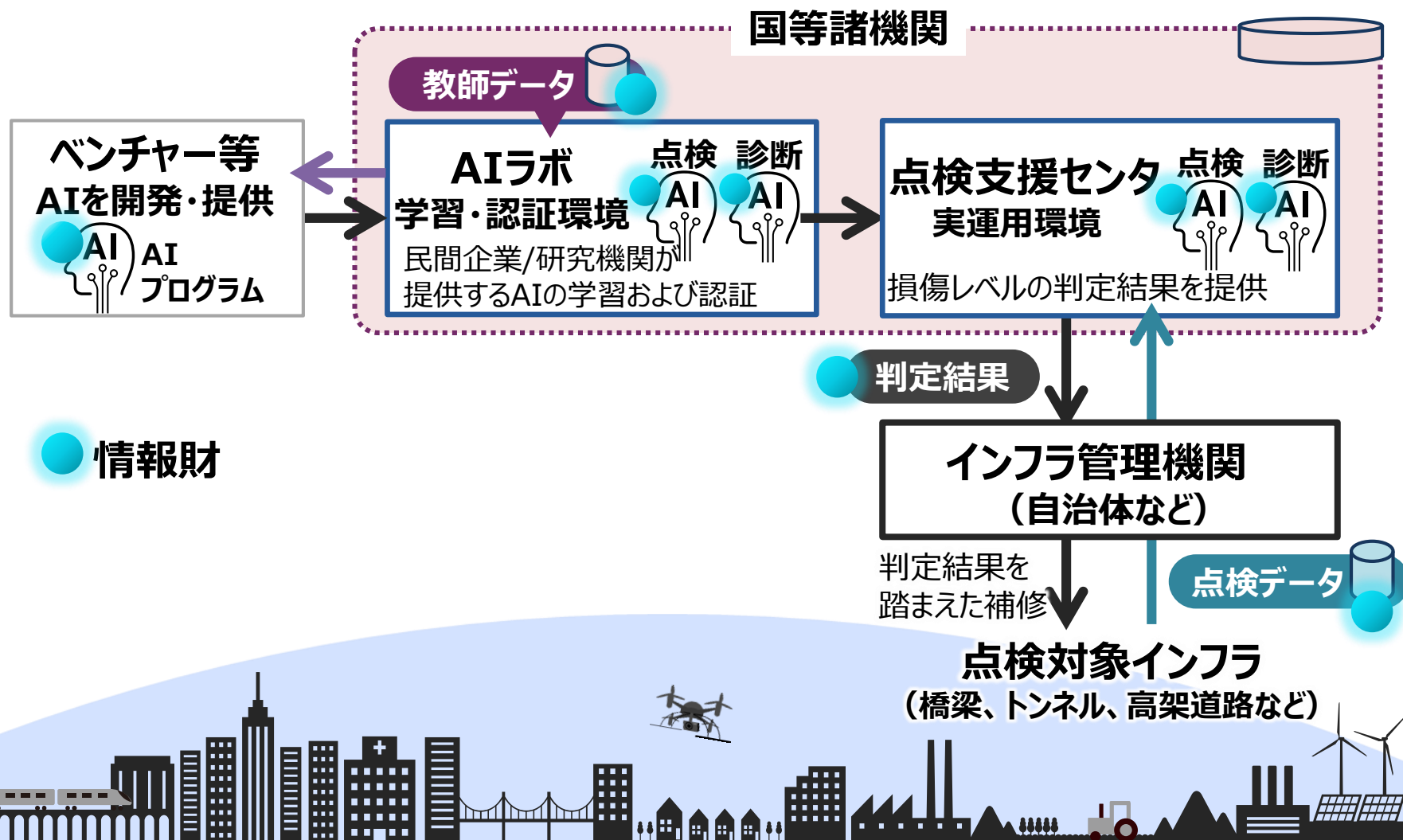


ドローン・AI活用による点検作業
の効率化



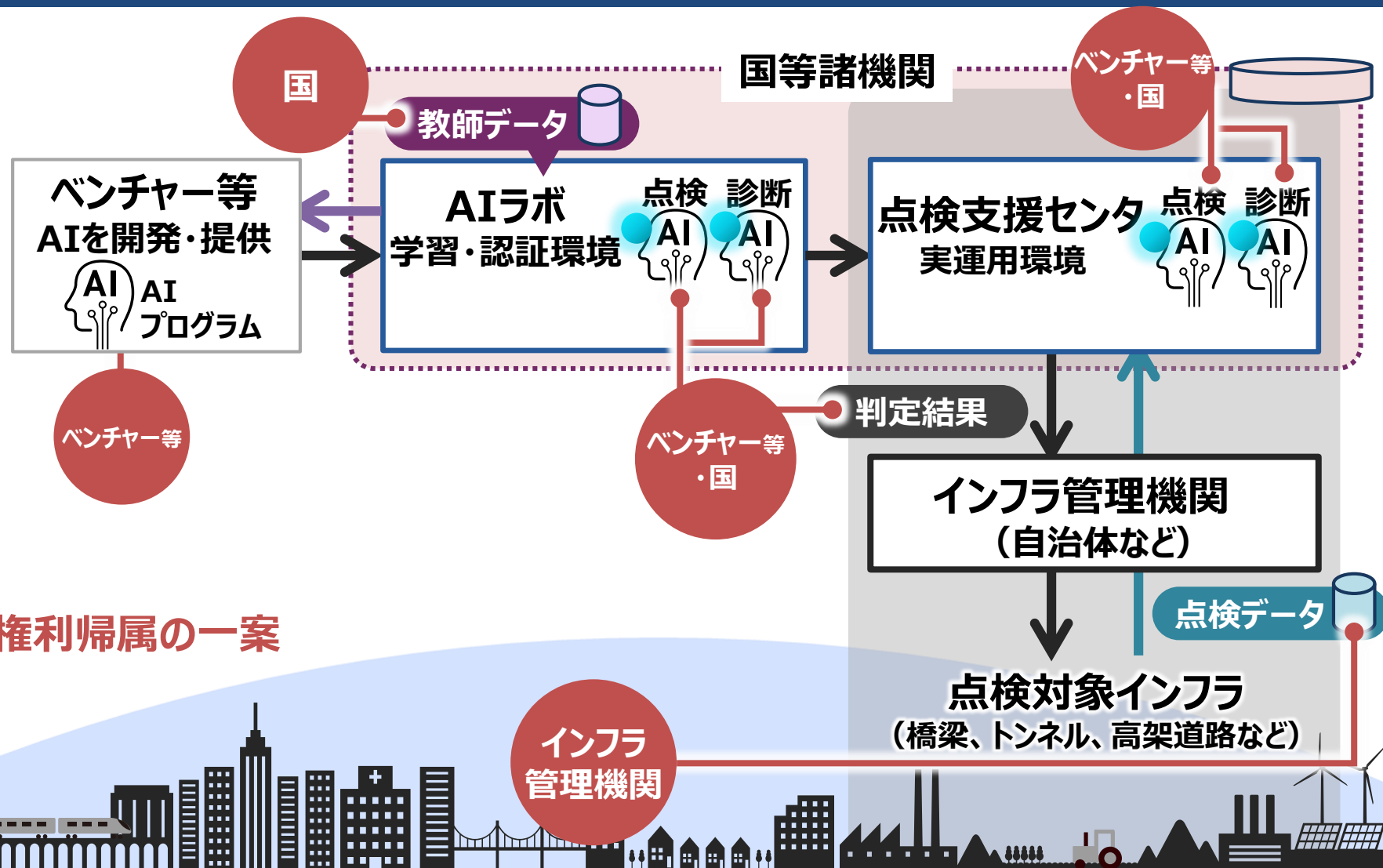
2-1. AIを適用したメンテナンス業務の実現イメージ

- AI適用のため、国等諸機関を中心としたAI開発・運営のためのプラットフォームが必要
- 教師データ等を整備、ベンチャー等のAI開発者へ公開することにより、AI開発を促進

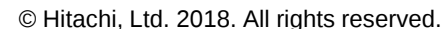


2-2. AI適用における課題(例:知的財産権の扱い)

- AIの開発・運用においては、複数様々な情報財が発生
- 知的財産権の帰属について、予め議論・整理しておく必要(以下は権利帰属の一案)



日立システムズ「ドローン運用統合管理サービス」の活用イメージ



HITACHI
Inspire the Next 